

芸術 (音楽Ⅱ)

発 番 号	行 名	者 称略 称	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
27	教育芸術社	教芸	音Ⅱ 027-901	A 4	126	令和 8 年
27	教育芸術社	教芸	音Ⅱ 027-902	A 4	118	令和 8 年
50	大修館書店	大修館	音Ⅱ 050-901	A 4	136	令和 8 年
89	音楽之友社	友社	音Ⅱ 089-901	A 4 変型	126	令和 8 年

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

音楽Ⅱ		冊数	4冊
発行者の略称・教科書の番号	教芸027-901 教芸027-902 大修館050-901 友社089-901		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【芸術の目標】

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- (3) 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【音楽Ⅱの目標】

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

【音楽Ⅱの内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>A 表現</p> <p>(1) 歌唱</p> <p>ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに歌唱表現を創意工夫すること。</p> <p>イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。</p> <p>(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果</p> <p>(イ) 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果</p> <p>(ウ) 様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性</p> <p>ウ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能</p> <p>(イ) 他者との調和を意識して歌う技能</p> <p>(ウ) 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能</p> <p>(2) 器楽</p> <p>ア 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに器楽表</p>	<p>(1) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導については、必要に応じて、「共通事項」を要として相互の関連を図るものとする。</p> <p>(2) 生徒の特性、学校や地域の実態を考慮し、内容の「A表現」については(1)、(2)又は(3)のうち一つ以上を選択して扱うことができる。</p> <p>(3) 内容の「B鑑賞」の指導については、各事項において育成を目指す資質・能力の定着が図られるよう、適切かつ十分な授業時数を配当するものとする。</p> <p>(4) 内容の取扱いに当たっては、「音楽Ⅰ」の3の(2)から(11)までと同様に取り扱うものとする。</p>

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>現を創意工夫すること。</p> <p>イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。</p> <p>(ア) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果</p> <p>(イ) 曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果</p> <p>(ウ) 様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性</p> <p>ウ 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能</p> <p>(イ) 他者との調和を意識して演奏する技能</p> <p>(ウ) 表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能</p> <p>(3) 創作</p> <p>ア 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、個性豊かに創作表現を創意工夫すること。</p> <p>イ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めること。</p> <p>ウ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能</p> <p>(イ) 旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能</p> <p>(ウ) 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能</p> <p>B 鑑賞</p> <p>(1) 鑑賞</p> <p>ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くこと。</p> <p>(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠</p> <p>(イ) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値</p> <p>(ウ) 音楽表現の共通性や固有性</p> <p>イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解を深めること。</p> <p>(ア) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり</p> <p>(イ) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり</p> <p>(ウ) 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴</p> <p>[共通事項]</p> <p>ア 音楽を形づくっている要素や要素同士</p>	

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。 イ 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること	

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究

調査項目		対象の根拠（目標等との関連）
a	題材など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成	第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い
b	音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容	内容の取扱い (8)
	その他の項目（各教科共通）	東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 題材など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成
 - ・ 音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動によって、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力の育成を図っている内容について調査する。
- b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容
 - ・ 「A表現」及び「B鑑賞」において、思考力、判断力、表現力等の育成を図るため、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容について調査する。
 - ・ 「B鑑賞」において、曲や演奏について根拠をもって批評する活動について調査する。

《その他の項目》（各教科共通）

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 題材など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成
 - ・ 学習指導要領の中に、「題材など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。」と明示されている。そのため、各題材における資質・能力をどのように育成できるかという視点で調査することとした。
- b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容
 - ・ 学習指導要領に、言語活動の充実の目的が明確に示されているとともに、言語活動が「A表現」及び「B鑑賞」の両領域において大切であることが示されている。このことから、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容について調査することとした。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会教育目標の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点
- ・ 自立した学習者の育成に資する工夫

教科名	芸術
科目名	音楽Ⅱ

発行者（略称）	教芸
教科書番号	音Ⅱ 027-901
教科書名	高校生の音楽2
(1) 内容	
a 題材など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成	
【A表現 歌唱】	<ul style="list-style-type: none"> ・「からたちの花」を歌唱する題材において、言葉の抑揚やリズムを感じ取り、旋律との関わりについて理解を深めるなど、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができるよう工夫されている。また、「糸」などポピュラーソングの題材では、ギター等の弾き歌いの活動も促されており、コード進行に着目しながら学べる楽曲も豊富に取り扱われている。 ・外国語による歌曲の題材において、歌詞の内容を理解して、どのように歌いたいと考えて話し合い、表現を工夫して歌うなど、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 器楽】	<ul style="list-style-type: none"> ・ギターを演奏する題材において、ギターの音色や、音の重なりを楽しみながら演奏するなど、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法や技能を身に付けることができるよう工夫されている。また独奏や重奏、アンサンブルなど、様々な演奏形態で表現することができるよう構成されている。 ・「Take Five」を合奏する題材において、パートの役割や強弱記号、アーティキュレーションに注意して表現の工夫をするなど、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 創作】	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽家の仕事を体験しよう」では、生活や社会の中の音や音楽に関わることをイメージしながら、依頼文を読んでその内容を理解し、どのような音楽がふさわしいか考えて、音楽を選ぶなど、生徒が自ら選択して学ぶことができるような構成になっている。 ・「サウンド・シグナルをつくらう」では、拍子、リズムなどを工夫して、イメージに合ったメロディーをつくるなど、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な技能を身に付けることができるよう工夫されている。 ・「循環コードを使って音楽をつくらう」において、依頼文の要望に合う音楽のイメージを膨らませ、全体の構成を考えるなど、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【B鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界のさまざまな音楽」において、それぞれの音楽において大切にされていることや背景など、写真を用いて分かりやすく説明されており、工夫されている。 ・それぞれの楽曲に関連する演奏形態や作品の鑑賞についても明示し、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができるよう工夫されている。 ・モーツァルトオペラなどの西洋音楽を鑑賞する題材において、歴史的背景の描写や作品に映し出された時代背景に注目しながら鑑賞するなど、音楽の特徴と文化的背景との関わりについて理解を深めて学べるよう、工夫されている。また、写真や説明を用いて理解しやすいように工夫されている。
【共通事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や器楽など表現領域の題材において、各題材のポイントがあり、さらに「ポピュラー音楽探求」の「音楽って何だろう？」など、メロディー、コード、リズムなどの音楽的特徴に注目させるなど、要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じ取りながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えることができるよう工夫されている。 ・「絵画から着想を得た音楽作品を鑑賞しよう」において、音楽作品を聴いた印象や捉えた音楽的特徴などを踏まえて感想を書くなど、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じ取りながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えることができるよう工夫されている。
b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容	
【言語活動について】	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや意見を発表したりグループで話し合ったりする場面が多く設定され、音楽や言葉によるコミュニケーションを図り、より学びが深まるよう工夫されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本各地の民俗芸能」では、土地の繁栄と、そこに生きる人々の息災を祈願する儀礼とした祭りの伝承について、各地域の写真や説明において分かりやすく明示されている。 ・「日本音楽史」では、古代、中世、近世と、時代ごとに音楽作品が紹介され、写真や年表を用いて理解しやすいように工夫されている。 ・「世界のさまざまな音楽」において「人間と音楽の多様な関わり」では、踊りと音楽、社会へのメッセージソングなど、人間と音楽の多様な関わりや、音楽文化の伝承について理解できるように工夫されている。世界のさまざまな音楽において、その背景にある文化について理解し、音楽表現や他国の音楽的特徴が理解できるように工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽って何だろう？」の「人間と音楽の多様な関わり」では、世界各地のさまざまな音楽について、「社会へのメッセージソング」として、その背景にある人権課題に関するメッセージや文化があり、あらゆる場面での音楽表現の形や他国の音楽的特徴が理解できるように、記述されている。
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽って何だろう？」の「人間と音楽の多様な関わり」にある「命の尊さ『教訓1』」の歌の説明文に、「新型コロナウイルス感染症拡大初期に」が記載されている。 ・音楽史年表に「阪神・淡路大震災（1995）」「東日本大震災（2011）」「新型コロナウイルス感染症の世界的流行（2019～）」が記載されている。

オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・音楽史年表に「東京オリンピック（1964）」 「東京2020オリンピック・パラリンピック（2021）」が記載されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・「世界のさまざまな音楽」の説明文に、 「死者を悼んだりする際に、男性が独奏する」が記載されている。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・歌唱におけるピアノ伴奏、朗読・リズム読み、模範演奏、解説などを視聴して各自が学習できるよう、ページ内に二次元コードが掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	・ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ・全ての生徒の色覚特性に適應することを目指してデザインされている。
自立した学習者の育成に資する工夫	・「音楽旅行記」の題材において、デジタル端末を活用し、興味関心に応じて音楽旅行記を作成できるよう工夫されている。 ・創作の題材において、創作の手順が分かりやすく示され、生徒が創意工夫して創作していく際に、自己決定する過程を通じて学べるよう、工夫されている。

教科名	芸術
科目名	音楽Ⅱ

発行者（略称）	教芸
教科書番号	音Ⅱ027-902
教科書名	MOUSA2
(1) 内容	
a 題材など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成	
【A表現 歌唱】	<ul style="list-style-type: none"> ・「Siciliana」を歌唱する題材において「歌唱の呼吸法をマスターしよう!」では、身体の使い方やEXERCISEのポイントが示される等、息をコントロールするための歌唱の呼吸法が明示されており、創意工夫を生かした歌唱表現をするために、必要な技能を身に付けることができるよう工夫されている。 ・「今宵の月のように」や「糸」のポピュラーソングを歌唱する題材において、リズムの特徴や曲想と歌詞との関わり、日本語の語感を生かした表現方法など、音楽を形づくっている要素と音楽における働きと関わらせて理解することができるよう、工夫されている。
【A表現 器楽】	<ul style="list-style-type: none"> ・ウクレレやギター、和楽器を演奏する題材において、各楽器の特性や基礎的な奏法を理解することができるように、分かりやすい図版と説明文が示されている。また、小品曲から一つの楽曲だけでなく、アンサンブル曲の教材も充実している。 ・リコーダーで「ロンド」をアンサンブルする題材では、アーティキュレーションを生かした表情豊かな演奏となるよう、協働的に学習しながら主体的に学習を進められるよう工夫されている。 ・「シンコペーテッド・クロック」でキーボード・アンサンブルする題材において、パートの役割を考えてアンサンブルをするなど、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 創作】	<ul style="list-style-type: none"> ・「構成を工夫して作品をつくろう」において、創作の手順や創作のヒントとなる例が示されており、表したいイメージと関わらせて理解を深めることができるよう工夫されている。 ・「編曲に挑戦しよう」において、音色、リズム、和音などを変化させることにより曲の雰囲気やどのように変化したのかを感じ取らせるなど、変奏や編曲をする技能を身に付けることができるよう工夫されている。また、器楽教材と創作を関連させながら、手順を踏んだ説明と、豊富な創作方法の例が明示されている。
【B鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> ・映画音楽やミュージカルを鑑賞する題材において、ライトモチーフの手法を理解したり表現の特徴を感じ取ったりするなど、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解を深める内容が設けられている。また、鑑賞曲の中のミュージカル・ナンバーを歌唱教材として扱っており、表現領域との関連を図って、音楽の特徴と文化的背景との関わりについて理解を深めて学べるよう、工夫されている。 ・我が国の伝統音楽や世界の音楽を鑑賞する題材において、長唄の発声や歌唱法、楽器の音色や奏法、リズムの特徴などに着目しながら音楽を味わうなど、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができるよう工夫されている。
【共通事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えてみよう」のコーナーにおいて、表現上の効果やパートどうしの調和を実感し、考えることができるよう、工夫されている。 ・「映画音楽を聴こう」において、「ゴジラ-1.0」では独特なリズムと和音などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽と映画の場面との結び付きについて考えることができるよう工夫されている。
b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容	
【言語活動について】	<ul style="list-style-type: none"> ・創作や鑑賞の題材において、自分の考えや意見を発表したりグループで話し合ったりする場面が設定され、音楽や言葉によるコミュニケーションを図り、より学びが深まるよう工夫されている。
《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の伝統音楽」では、その特徴や背景や文化について説明資料があり、日本音楽の流れについて、写真や年表を用いて理解しやすいように工夫されている。 ・また、民謡や長唄による歌唱の取扱いがあり、我が国の伝統的な歌唱が学べるよう構成されている。 ・「世界の諸民族の音楽」において、「身振り」を伴う表現と「掛け声」や「楽器」による表現の紹介により、他国の音楽的特徴が理解できるように工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「ジャズの誕生」についての説明文に「その後はアフリカ人奴隷貿易の中心地になるなど」と記載されている。 ・「アメリカとジャズに関連する主な出来事」の年表に「奴隷制の制度化」、「1808 奴隷貿易の禁止」、「1865 奴隷制の廃止」が記載されている。
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本音楽の流れ」の年表に「阪神・淡路大震災（1995）」「東日本大震災（2011）」が記載されている。 ・「明日の木」の楽曲紹介の文で、「2011年の東日本大震災で被災した直後からインターネット上につづった詩が話題になる」と記載されている。

	オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	- 「日本音楽の流れ」の年表に「東京オリンピック (1964)」「東京2020オリンピック・パラリンピック (2021)」が記載されている。
	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	- 「世界の諸民族の音楽」の「⑧ザウリ・ダンス」の説明文に、「踊り手は女性の美の象徴とされる木製の仮面を着け」と、記載されている。
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	- ピアノ伴奏、発声練習、歌詞の朗読や原語歌詞の発音、楽器の解説や奏法などを確認できるよう、二次元コードが掲載されている。
	ユニバーサルデザインの視点	- ユニバーサルデザインフォントが採用されている。全ての生徒の色覚特性に適應することを目指してデザインされている。
	自立した学習者の育成に資する工夫	- 「初恋」の歌唱や創作の題材において、学習の手順や学習をサポートする参考資料を閲覧できる二次元コードが明示されている。生徒が創意工夫して創作していく際に、自己決定する過程を通じて学べるよう、工夫されている。

教科名	芸術
科目名	音楽Ⅱ

発行者(略称)	大修館
教科書番号	音Ⅱ 050-901
教科書名	音楽Ⅱ改訂版 Tutti +
(1) 内容	
a 題材など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成	
【A表現 歌唱】	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や呼吸を意識しながら歌唱する「声という大切な楽器」において、「歌声づくりのポイント」が示されるなど、創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身に付けることができるよう工夫されている。 「あなたはどこに」を歌唱する「曲のメッセージを大切に表現を工夫しよう」の題材において、作曲者のメッセージの記載があり、作曲者の意図や演唱法の説明など楽譜に記載されている。 「風の子供」を歌唱する「言葉のまとまりと音楽の関係を捉えて歌おう」の題材において、旋律の動きや強弱、アーティキュレーションなど歌い方の工夫が示されており、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができるよう工夫されている。
【A表現 器楽】	<ul style="list-style-type: none"> 箏や三味線などの「和楽器の演奏を楽しもう」の題材において、「さまざまな奏法」では、写真を用いて説明があり、分かりやすく工夫されている。また独奏や重奏、アンサンブルなど、様々な演奏形態で表現することができるよう構成されている。 「ギター演奏を楽しもう」では、楽曲のイメージをもって演奏できるよう、「演奏のPoint」では、音色の違いに着目して奏法の工夫を促すような記載があり、個性豊かに器楽表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 「The raiders march」でアンサンブルする題材において、楽器の音色や奏法、音量のバランスなど、他者との調和を考えさせる活動を促すなど、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 創作】	<ul style="list-style-type: none"> 「『どじょっこふなっこ』を変奏してみよう」の題材において、「どじょっこふなっこ」の旋律をもとに、伴奏となる和音、調、拍子などを変化させることにより、曲の雰囲気やどのように変化したか感じ取らせることで、音楽を形づくった要素を生かして変奏できるように構成されている。創意工夫を生かした創作表現をするために必要な技能を身に付けることができるよう工夫されている。 「動機をもとにして音楽をつくろう」の題材において、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けることができるよう工夫されている。また、創作の手順が示されており、創作のヒントとなる例が示されていたり、デジタルを活用した創作についても触れている。
【B鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の音楽と文化」において、「音でたどる日本音楽の流れ」が示され、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解が深まるよう、教材の配列が工夫されている。 「世界の音楽と文化」では、「世界のさまざまな音楽の魅力」において、発声や唱法、楽器の音色、リズムに着目しながら音楽を味わうなど、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができるよう工夫されている。また、写真を用いて理解しやすいように工夫されている。
【共通事項】	<ul style="list-style-type: none"> 「Ave Maria」を歌唱する題材において、「とり先生や生徒」から共通事項を意識した表現活動を促すなど、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考えることができるよう工夫されている。 「『どじょっこふなっこ』を変奏してみよう」において、「どじょっこふなっこ」の旋律をもとに、音楽を形づくっている要素を操作しながら変奏曲をつくるなど、音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考えることができるよう工夫されている。
b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容	
【言語活動について】	<ul style="list-style-type: none"> 器楽や創作、鑑賞の題材において、自分の知識や考えをまとめたり、話し合う場面が設けられているなど、音楽や言葉によるコミュニケーションを促し、より学びが深まるよう工夫されている。
《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「民謡や伝統音楽に親しもう」や「日本の音楽と文化」では、その特徴や背景や文化について、写真や説明資料が示されている。「音でたどる日本音楽の流れ」については、古代からの成立時期が、写真や年表を用いて理解しやすいように工夫されている。 「世界の音楽と文化」において、民俗芸能の伝承の中で使用される楽器の紹介とともにその背景にある文化について、さまざまな発声や唱法、西洋音楽とは異なる音階、楽器の音色、リズム、拍子の考え方などに着目した解説により、他国の音楽的特徴が理解できるように工夫されている。
人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> 「音楽史と史実」に「関東大震災(1923)」、「阪神・淡路大震災(1995)」、「東日本大震災(2011)」、「新型コロナウイルス(2020)」が記載されている。 「あなたはどこに」の楽曲紹介の文で「東日本大震災で被災した後インターネット上で発表した『詩の磔』をもとに」と記載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「音楽史と史実」に「夏季オリンピックが東京で開かれる(1964)」、「東京2020オリンピック(2021)」が記載されている。

	固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫		
	デジタルコンテンツの扱い	・外国語の歌詞の朗読や楽器の演奏など学習に役立つよう、二次元コードが掲載され、学習に関する資料を参照したり、音声や動画を視聴したりすることができる。
	ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・UD書体が使用されている。
	自立した学習者の育成に資する工夫	・「とり先生と生徒たち」のキャラクターによって、学習のヒントや手順となるポイントが明確に示されている。生徒が創意工夫する際に、試行錯誤し、自己決定する過程を通じて学べるよう、工夫されている。

教科名	芸術
科目名	音楽Ⅱ

発行者(略称)	友社
教科書番号	音Ⅱ 089-901
教科書名	改訂版 ON! 2
(1) 内容	
a 題材など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成	
【A表現 歌唱】	<ul style="list-style-type: none"> ・「からたちの花」や「上を向いて歩こう」を歌唱する題材において、言葉のフレーズとメロディーの関わりや、音楽を形づくっている要素がどのようなイメージを生み出しているかを考え、曲のイメージに合った表現を探るなど、個性豊かに歌唱表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・「刈り切歌」や「Seasons of Love」を歌唱する題材において、「コブシ」など特徴的な発声技法や斉唱部分と合唱部分との対比を味わうなど、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解することができるよう工夫されている。また、扱われているジャンルが多様であり、楽曲数が豊富である。 ・「La serenata」や「Die Forelle」を歌唱する題材において、イメージに合った歌い方を目指し、曲中のフレーズを使って声の出し方を工夫する際に、レガートやスタッカートでの歌唱練習を行うなど、技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 器楽】	<ul style="list-style-type: none"> ・「ソーラン節」や「イパネマの娘」を演奏する題材において、太鼓の粹うちなど楽器の特性や、ボサ・ノヴァの特徴を生かした表現を工夫し、個性豊かに器楽表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・「島人ぬ宝」をキーボードで演奏する題材において、歌詞の内容と関わらせながら、三線の音色が生み出す雰囲気や深く味わいながら演奏するなど、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の関わりについて理解することができるよう工夫されている。 ・「笑点のテーマ」をアンサンブルする題材において、楽器の特性を生かした効果的なアンサンブルを考えるなど、創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【A表現 創作】	<ul style="list-style-type: none"> ・「音素材を生かしてつくろう」において、音素材のよさや特徴を生かし、構成を創意工夫して創作するなど、音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響きや構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めることができるよう工夫されている。 ・「歌をつくろう」において、メロディー(旋律)、リズムや拍子、調などの変化や、言葉のアクセントや詩のイメージを音楽で表現するなど、個性豊かに創作表現を創意工夫することができるよう工夫されている。 ・「変奏曲をつくろう」において、調、リズム、和音などを変化させることにより曲の雰囲気やどのように変化したのかを感じ取らせるなど、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付けることができるよう工夫されている。
【B鑑賞】	<ul style="list-style-type: none"> ・「王宮の花火の音楽」などの西洋音楽を鑑賞する題材において、それぞれの楽曲に関連する演奏形態や楽器の特徴などがコラムとして記載されるなど、鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができるよう工夫されている。 ・「能」などの日本音楽を鑑賞する題材において、見どころや聴きどころが示されており、物語と時代背景を把握し、登場人物の気持ちが語りや演奏でどのように表現されているかを話し合うなど、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めることができるよう工夫されている。
【共通事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・表現領域の題材において、「Point」や「Try」など、共通事項を意識した表現の工夫を促すなど、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができるよう工夫されている。 ・鑑賞の題材において、音楽を形づくっている要素に注目し、他の要素とどのように関わっているか考えさせたり、音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解することができるよう工夫されている。
b 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置付けている内容	
【言語活動について】	<ul style="list-style-type: none"> ・表現領域や鑑賞領域の題材において「ONGAKUをふかめよう」など、音楽の要素がどのようなイメージを生み出しているか考えたり、自分の考えを他者と話し合ったり、発表したりする活動など、音楽や言葉によるコミュニケーションを促し、より学びが深まるよう工夫されている。
《その他の項目》(各教科共通)	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国及び他国の伝統や文化では、民謡作品が多く取り上げられており、音楽文化の伝承について、個々の音楽の特徴を捉えるなどとして、それぞれの音楽の共通性や固有性を捉え、音楽の多様性について理解できるように工夫されている。幅広い地域やジャンルの多種多様な解説や紹介により、他国の音楽的特徴が理解しやすいよう工夫されている。
人権課題(同和問題、北朝鮮による拉致問題等)に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「Amazing Grace」楽曲の説明文に、「奴隷制度の廃止を願ってつくったといわれる讃美歌」と記述されている。
安全・防災や自然災害の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「水平線」の楽曲の説明文に、「新型コロナウイルスの流行により全国高等学校総合体育大会(インターハイ)中止を経験した高校生たちの声に触れ、彼らの喪失感や葛藤を受け止めて作曲された。」と記述されている。 ・音楽史年表に「阪神・淡路大震災(1995)」「東日本大震災(2011)」が記載されている。

オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	・音楽史年表に「東京オリンピック（1964）」 「東京2020オリンピック・パラリンピック（2021）」が記載されている。
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・「Du bist wie eine Blume」の「シューマンの結婚と音楽家クララ」の説明文に、「しかし、当時は女性が作曲をすることは社会的に認められない風潮があり、結婚後は自身の作曲よりもロベルトの創作を支えることが多くなった。」と記述されている。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	学習に役立つ動画、解説などのデジタル・コンテンツをウェブサイトで見ることができるよう、二次元コードが掲載されている。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の手順が明確に示されており、生徒が創意工夫して表現していく際に、自己決定する過程を通じて学べるよう、「Point」や「Try」によりヒントが示されている。 ・「ONGAKUをふかめよう」によって、生徒の表したい音楽のイメージを具体化するようなヒントが示されており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。